

環境に配慮した取組 地球温暖化対策に取り組んでいます

▶水源環境の保全

水源環境の保全を図るため、次のような取組を行っています。

- 水源かん養林の保全
- ダム等に堆積した土砂の除去
- エアレーション装置による湖水の循環
- 植物浄化施設(ビオトープ)による湖水の水質浄化
- 環境NPOと協働して、間伐を促進し、森林の健全な育成を図る取組(かながわ森の町内会)など



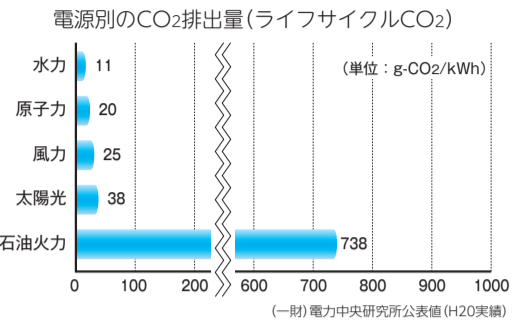
水源かん養林(相模原市緑区青根)

▶水力発電

県内13か所の水力発電所は、最大出力が354,689kWあり、平成25年度の発電電力量は、神奈川県的一般家庭約10万世帯が1年間に消費する電力量に相当します。

火力発電と比較すると、約23万3千トンの二酸化炭素(CO₂)排出削減効果があります。

水力発電所は、地球温暖化の原因とも考えられる二酸化炭素(CO₂)をほとんど排出しない、環境にやさしい自然エネルギーです。



▶太陽光発電設備の導入

再生可能エネルギーの導入促進を図る観点から、企業庁用地を有効利用した太陽光発電設備の設置を進めています。

平成25年度は、愛川町半原に最大出力1,896kWの太陽光発電所(愛川ソーラーパーク“さんてらすTOBISHIMA”)の運転を開始するとともに、相模原市緑区に出力20kWの太陽光発電設備である城山第2ソーラーガーデンを設置しました。

平成26年度は、相模原市緑区にある谷ヶ原配水池上部を利用した最大出力1,000kWの太陽光発電所の運転を開始しました。



谷ヶ原太陽光発電所

▶環境についての普及啓発

県民の皆さまに水道についてご理解を深めていただくため、水道学習講座や小学生を対象にした水道教室を実施しています。



水道教室

平成25年度の環境報告書を作成しました

平成25年度の環境負荷低減効果は次のとおりでした。

二酸化炭素(CO ₂)排出量の削減	4,663トン
窒素酸化物(NO _x)排出量の削減	1,596 ^{キログラム}
硫黄酸化物(SO _x)排出量の削減	1,219 ^{キログラム}
廃棄物の削減	279,193トン
土砂処分量の削減	13,720トン

平成25年度の二酸化炭素排出量の削減効果4,663トンは、森林の持つ二酸化炭素吸収量(1ヘクタールあたり4.95トン^(注))で換算すると、942ヘクタール(横浜スタジアムの球場面積(2.62ヘクタール)の約360倍)の森林が1年間に吸収する二酸化炭素の量に相当します。

(注)日本の森林では、1ヘクタールで1年間に4.95トンの炭酸ガス(二酸化炭素)を吸収する。→環境省「京都議定書目標達成計画」より。育成林の炭素吸収量(1ヘクタールあたり1.35トン)に係数(44/12)を掛けて算出。

なお、浄水場やポンプ所の各種ポンプの効率的な運転等により消費電力量の削減に努めています。また、ダム・貯水池に堆積した土砂の骨材利用や、流木のチップ化、浄水発生土の再資源化、水道管理設時の発生土の再利用などに取り組みました。







詳しくは、ホームページをご覧ください。 [神奈川県企業庁 環境報告書](http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f8012/p11573.html)

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f8012/p11573.html>

なお、県政情報センター、各地域県政情報コーナー、各水道営業所等で、冊子としても閲覧できますのでご利用ください。



水道水で元気な毎日!

-  カッピー、前回「健康のため水を飲もう」^{注1)}の話をしたよね? ほかに、水道水が健康にいいことってないの?
-  そうだね。「お風呂」に入ることはどう?
-  シャワーで洗うだけより、お風呂につかるとぽかぽかしてくるものね。でも、お風呂はいっぱいお水を使うから、もったいないかしら?
-  春とはいえまだ寒いからゆったりお風呂で温まろうよ。それに、水道料金^{注2)}はペットボトル1本(2リットル)で、約0.3円だよ。180リットルのお風呂なら、約26円なんだ。
-  ぼくのお風呂上がりのジュースより安いんだね。
-  水分補給は、おいしくて安全な水道水をおすすめするよ! 入浴でも汗をかくから、忘れずに水分補給しよう。「健康のため水を飲もう」ね。



県営水道キャラクター紹介



ほく、泳ぎがとくいだよ。



おいしい水が大好きよ。

森林を大切に
してね。

しんちゃん

ほくたち4人
はいつも仲良
しなんだ!

アクアくん

注1)「健康のため水を飲もう」推進委員会が主唱し、厚生労働省が後援している運動です。「水分補給で元気な毎日」で

注2)「平成25年度県営水道決算の概要」水道水1m³(1,000リットル)あたりの収入の内訳-水道料金141円から算出。広報紙「さがみの水64号」(平成26年12月発行)3面に掲載
紙面はホームページにも掲載しています。「さがみの水64号」で

